

令和7年度 第3回 札幌方面豊平警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和7年12月4日(木) 午後2時00分から午後3時30分までの間

2 開催場所

札幌方面豊平警察署 3階道場

3 出席者

(1) 協議会委員 10名(定員11名)

会 長 埜本 麻名

副会長 北川 洋一

委 員 早瀬 京太、水上 悟、今藤 亜矢子、有田 京史、
神山 明弘、山本 典子、佐藤 未帆、杉岡 洋子

(2) 豊平警察署 9名

署 長 屋代 芳彦

副署長 板垣 孝謙

刑事・生活安全官 大嶋 康弘

地域官 荒川 淳

交通官 小野寺 一允

警務官 安藤 伸一(事務局)

警備課長 眞鍋 寛充

4 開 会

5 会長挨拶

6 署長挨拶

7 議 事

(1) 犯罪情勢について

(2) 交通事故等情勢について

(3) 議事に関する委員からの要望・意見

<詐欺被害の防止について>

(委員からの要望・意見)

- 先月、家、会社事務所などに大手企業を騙り詐欺の電話が頻繁に架かってくるが、留守電などで出ないようにしている。
- 有名人の画像を使った低額からの投資詐欺動画をインターネットで目にする。
- 民政委員をしており、地域のお年寄りから「ほくでん」から年額八千円程度払えば、電気の設備が故障した際に無料で修理するという契約の案内が封筒で届いた話を聞き、詐欺を疑ってインターネットで調べたが、そのようなサービスがあるのか真偽が分からなかった。

お年寄りは、大企業や有名な名前のあるものに飛びつき信じてしまいがち、高齢者の詐欺被害の防止が必要だと思います。

(警察回答)

- SNSなどで詐欺被害防止を呼びかけることに加え、地域の回覧板に交番広報紙を載せる、高齢者の目につきやすい場所へのポスター掲示、詐欺被害防止の防犯チラシ配布など、紙媒体のアナログな手法も用いて被害防止を呼びかけていく。

「ほくでん」の修理契約案内の封書については、調査して回答します。

<交通事故対策について>

(委員からの要望・意見)

- 最近のファッションの傾向なのか、上下黒色の服装が多いと感じる。夜間の運転中に歩行者を見落とす危険を感じている。

赤色ライトが点滅するものを身に着けると、遠くからもよく見えるので、事故防止のために高齢者に宣伝して欲しい。

(警察回答)

- 高齢者の集まる交通安全講話などにおいて、夜光反射材付きのグッズを推奨している。LEDライトが点滅する携帯品・身に着ける交通安全グッズなども紹介し、交通事故被害の防止対策を広めていく。

<熊の出没情報について>

(委員からの要望・意見)

- 清田区役所に熊の目撃情報が多数あり、有明地区にワナ設置の対策をしたが、その後、目撃情報は札幌市南方の地区に移った。

区役所に通報を受けた際には、都度職員が現場を確認し、その際には警察の協力も得て対応していただいた、お礼を申し上げる。

(警察回答)

- 当署管内でも多数の熊、熊ようの動物の目撃情報が寄せられ、見間違いと確認されたものも多数あるが、通報の多さから住民の関心の高さを認識している。

現時点において、当署管内で人的な実害は確認していない。

提供された情報は、市の担当者と警察官が臨場して1件ずつ精査し、熊の足跡、痕跡があれば画像送信を活用して熊の専門家の意見を参考に、熊か否かを適切に判断している。

(委員からの要望・意見)

- 熊は非常に行動範囲が広いと報道されていた、出没情報の地図をなどを住民に向けて情報提供があれば分かりやすい。

(警察回答)

- 熊の出没について正確な情報であるもの、実害が出た場合などは、出没地域のマップを作成して警察署ホームページに掲載するなど、視覚的に分かりやすい情報提供の方法を検討したい。

(委員からの要望・意見)

- 緊急銃猟制度が始まっている、交通整理、避難誘導など警察の協力を心強く思っている。

(警察回答)

- 緊急銃猟制度が9月に施行されており、行政と連携し住民の安全確保に努めたい。

<北野交番の建て替えについて>

(委員からの要望・意見)

- 北野交番が建て替え工事中ですが更地になっている。交番がある方が治安のために良いと感じており、完成はいつ頃か。

(警察回答)

- 北野交番は、建て替えのため、来年夏以降の完成予定となっている。それまでの間、北野交番勤務員を隣接交番に置き、警察官の配置数は減らさないようにし、パトロールカーの巡回や、制服警察官の姿が見える活動をこれまで以上に多くして、治安の維持に努めている。

8 諮問事項

「各種災害時における被害防止のための準備
～警察と住民協力による安全の確保～」

(委員からの答申)

- 土砂崩れ危険地域などのハザードマップは区役所で配布しており、利用できるものは活用して欲しい。
- 民生委員として、福祉を学ぶ大学生と、お年寄りは何に困っているのかという視点で防災マップを作る取り組みの中で話をする機会があった。

警察と地域の若い力とも協力して高齢者が安心できる防災に繋げていきたい。

(警察回答)

- 行政、地域住民と協力して、ハザードマップなど活用、周知していきたい。

(委員からの答申)

- 地域に住んでいる外国人は、雇用会社が世話をしているようですが、生活習慣の違いから、ゴミの出し方など、きちんとして欲しいなど住民の声を聞くことがある。災害時に外国人とのトラブルが心配で、外国人がいる環境での防災対策に必要性を感じる。

(警察回答)

- 外国人の居住実態の把握と言語問題や文化の違いを考慮し、今後も災害時の対応や情報提供の手法などについても検討したい。

(委員からの答申)

- 10月に月寒地区防災フェスタを開催し、警察車両の展示が参加者に好評でした。
- 災害時は人命救助など消防署のイメージがあったが、交通整理や規制だけでなく情報の集約や提供など、警察の役割は大きいと感じた。警察の災害対策を身近に感じ、いざというときに協力できるように、もっとアピールをして、地域住民に知らせる機会があったら良いと思います。

(警察回答)

- 交通整理だけでなく、避難誘導、人命救助、検視、災害地の泥棒犯罪の警戒活動など災害時の警察活動は多岐に渡るので、今後とも周知と理解に努める。

(委員からの答申)

- 毎年商業施設の防災訓練をしていましたが、主に火災を想定したものであり、警

察と協力して災害訓練も取り入れてみたいと思います。

(警察回答)

- 地域で防災訓練を行うときに、当署の警察官を派遣し、協力して災害訓練・防犯訓練をする機会を頂きたい。

災害発生時、早期対応をとることが被害を小さく抑えるため、警察官が現場に到着する前に、住民の皆さんも出来ることを平素の防災訓練に補足し、災害一次対応をして頂けるように周知・指導することを考えている。

9 報告事項

なし

10 次回の諮問事項等

(1) 開催予定

令和8年2月18日午後3時30分からの予定

(2) 諮問事項の事前周知

次回諮問事項は、今回の答申の内容を反映させ事前周知する。

11 閉 会